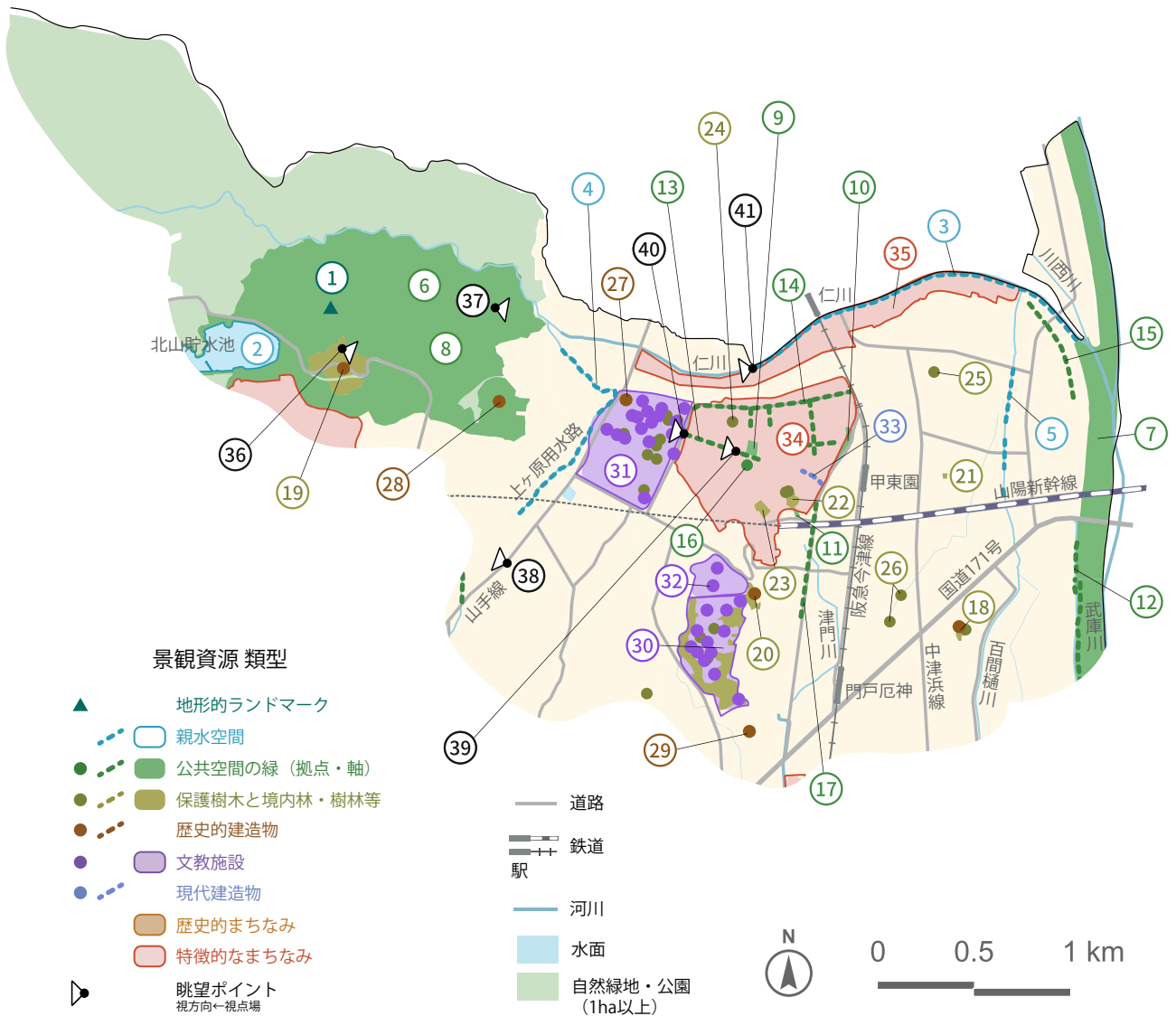


■ 景観資源



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|---------|------|----------|-----------|--------|------------|--------------|--------|------------|------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------------|-----------------|-----------------------|---------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-----------|--------------------|------------|---------------------|--------|----------------|--------------------------------|----------------------|------------|---------------|-------------|------------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------|--------------|
| ① 甲山 | ② 北山貯水池 | ③ 仁川 | ④ 上ヶ原用水路 | ⑤ 百間樋川遊歩道 | ⑥ 甲山湿原 | ⑦ 武庫川河川敷緑地 | ⑧ 兵庫県立甲山森林公園 | ⑨ 甲東梅林 | ⑩ 上甲東園1号緑地 | ⑪ 上甲東園3号緑地 | ⑫ 新堀川沿いのサクラ並木 | ⑬ 学園花通りのサクラ並木 | ⑭ 上甲東園のクスノキ並木 | ⑮ 一里山町のサクラ並木 | ⑯ 兵庫県立西宮高等学校のメタセコイア | ⑰ 神呪寺のサクラ・ケヤキ並木 | ⑱ 大市八幡神社の本殿と大クスなどの境内林 | ⑲ 神呪寺の仁王門と境内林 | ⑳ 東光寺(門戸厄神)と境内林 | ㉑ 若宮八幡神社の境内林 | ㉒ 門戸天神社の境内林 | ㉓ 神呪巖島神社の境内林 | ㉔ 甲陵中学校のユーカリ | ㉕ 西廣寺のエノキ | ㉖ 下大市 旧西国街道沿いのクスノキ | ㉗ 関西学院構内古墳 | ㉘ 大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡 | ㉙ 厄神道標 | ㉚ 神戸女学院の校舎群と樹林 | ㉛ 関西学院大学 上ヶ原キャンパスの校舎群と樹林 (景観賞) | ㉜ 関西学院大学 聖和キャンパスの校舎群 | ㉝ 上甲東園石段階段 | ㉞ 上甲東園の住宅まちなみ | ㉟ 仁川沿いのまちなみ | ㊱ 神呪寺から市街地を見渡す眺望 | ㊲ 甲山森林公園展望台から市街地を見渡す眺望 | ㊳ 苦楽園、甲陽園の住宅地一帯を見上げる眺望 | ㊴ 学園花通りから関西学院と甲山への眺望 | ㊵ 関西学院正門から甲山への眺望 | ㊶ 翁橋から甲山への眺望 |
|------|---------|------|----------|-----------|--------|------------|--------------|--------|------------|------------|---------------|---------------|---------------|--------------|---------------------|-----------------|-----------------------|---------------|-----------------|--------------|-------------|--------------|--------------|-----------|--------------------|------------|---------------------|--------|----------------|--------------------------------|----------------------|------------|---------------|-------------|------------------|------------------------|------------------------|----------------------|------------------|--------------|

上記の景観資源名を押していただくと当該資源の詳細説明のページに移動します。

7-1 甲山		資 源 類 型	地形的ランドマーク	
 <p>甲山森林公園の休憩所から見る甲山</p>  <p>みくるま池から見る甲山</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	甲山町	
		座 標	北緯	34.77493
			東経	135.32954
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	<p>甲山は標高 309.4m、西宮市北西部に位置する。1,200 万年前に辺り一帯の岩盤である花こう岩の隙間からマグマが流れ出て急速に冷え固まり、裾野の広い安山岩の山ができた。これが甲山の原型といわれている。鉢型のやわらかな稜線が美しく特徴的であり、本市の景観を代表するランドマークに設定されている。</p>		
景観上の特徴	<p>本市の景観核にも設定されている甲山の特徴的なその山容は、南部地域の各所から美しく眺めることができ、本市を代表する眺望景観を形成している。</p>			

7-2 北山貯水池		資 源 類 型	親水空間	
 <p>貯水池越しに見る六甲山系</p>  <p>貯水池越しに見るサクラ並木</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	甲山町	
		座 標	北緯	34.77279
			東経	135.32401
	建設年等	昭和 43 年(1968)		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	<p>甲山のふもとに昭和 43 年(1968)に完成した人工湖。周辺に数多くのシダレザクラが植えられ、ハイキングコースも多数ある。</p>		
景観上の特徴	<p>広がりのある水面が周辺の山並みと一体となり、自然豊かで開放的な景観を形成している。</p>			

7-3 仁川			資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	甲東地域		
	住 所	仁川町、一里山町、田近野町		
座 標	北緯	34.77485		
	東経	135.37018 ※座標は代表点を示す		
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	仁川自然保護地区(平成 20 年 3 月 3 日指定)		
受賞歴等	-			
資源の概要	仁川は六甲山に源を発し、社家郷山から甲山の北側を通って、東進して武庫川と合流している全長 9.9km の川である。西宮市と宝塚市の市境を流れている。親水歩道が設けられ、親しみやすい水辺空間となっている。			
景観上の特徴	宝塚市との境界線上に位置する仁川は、周辺の閑静な住宅地と一体となり、本市南部市街地の北側の入り口として、上品でうるおいある景観軸を形成している。			



仁川に架かる翁橋から六甲山方面を望む



仁川と川西川と武庫川の合流地点

7-4 上ヶ原用水路			資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	甲東地域		
	住 所	甲山町、仁川百合野町、上ヶ原一番町		
座 標	北緯	34.77060		
	東経	135.34557 ※座標は代表点を示す		
建設年等	-			
指定等	景 観	関西学院周辺景観地区(令和 2 年 6 月 1 日指定)		
	文化財	市指定史跡(昭和 56 年 3 月 25 日指定)		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
資源の概要	上ヶ原用水路は江戸時代のはじめ、上ヶ原台地開発に仁川の水を利用するために掘削された。仁川上流の大井滝から取水された水は仁川右岸の溝を流れ、上ヶ原台地へと至る。この分水樋までは全長約 800m で最初は笥と切り割溝で水を流したが、明和 5 年(1768)に大井滝が大破したのを機に、岩盤に全長百数十メートルにも及ぶ横穴を彫りぬいて導水するようになった。			
景観上の特徴	地域住民により維持される本用水路は、現在も周辺住宅地の中をとうとうと流れながら、涼やかで風情ある景観の形成に寄与している。			



上ヶ原一番町から見る上ヶ原用水路



仁川百合野町から見る上ヶ原用水路

7-5 百間樋川遊歩道		資 源 類 型	親水空間
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	段上町 6、7	
座 標	北緯	34.76997	
	東経	135.36798 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		百間樋川は今から 400 年ほど前に造られた灌漑施設である。仁川の川底を百間(180m)にわたって掘り抜いて、武庫川の水を段上・上大市・下大市・門戸・高木の五か村に流したものである。阪神・淡路大震災後に、百間樋川沿いの遊歩道が区画整理に合わせて整備された。バルコニーや、百間樋川の説明石板なども設置され、住民の憩いの場となっている。	
景観上の特徴		石積により整備された護岸や沿川のサルスベリなどが、まちなみにうろおいと趣を提供している。	
 <p>段上町 6 丁目から見る百間樋川遊歩道</p>  <p>段上町 7 丁目から見る百間樋川遊歩道</p>			

7-6 甲山湿原		資 源 類 型	公共空間の縁(拠点・軸)
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	甲山町	
座 標	北緯	34.77758	
	東経	135.33186 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	市指定天然記念物(昭和 49 年 3 月 20 日指定)	
	環 境・その他	生物保護地区(昭和 50 年 12 月 1 日指定)	
受賞歴等		-	
資源の概要		甲山湿原は甲山の北東斜面のふもとに広がっており、この辺りの地層は、現在の大阪湾の海の底にあった大阪層群が約 100 万年前以降の六甲変動の時に盛り上がったもので、雨が流れ込んでも水はけが悪いため湿原になったといわれている。	
景観上の特徴		絶滅危惧種等の珍しい湿原植物等が植生する本湿原は、市の天然記念物や生物保護地区にも指定され、本市の豊かな自然を象徴するひとつの要素となっている。	
 <p>甲山湿原①</p>  <p>甲山湿原②</p>			

7-7 武庫川河川敷緑地		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	田近野町～上田東町	
座 標	北緯	34.77082	
	東経	135.37297 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	武庫川河川敷緑地は延長 9km、開設面積 31.3ha に及び、甲東地域の一里山町から鳴尾地域の東鳴尾町までマツ並木が連続している。		
景観上の特徴	広い河川と河川敷の松の並木の連なりが市街地の中で開放感あるうおいの景観軸を形成している。また、マツの並木は、沿川の住宅地等からも望むことができ、まちなみの緑の背景となって上質で個性ある景観の形成に寄与している。		



サイクリングロードのマツ並木



河川敷緑地から見る武庫川

7-8 兵庫県立甲山森林公園		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	甲山町 43	
座 標	北緯	34.77242	
	東経	135.33595 ※座標は代表点を示す	
建設年等	昭和 45 年(1970)		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	兵庫森林浴 50 選(昭和 59 年) 日本の都市公園 100 選(平成元年) 阪神・淡路 100 名所(平成 11 年)		
資源の概要	六甲山地の東、甲山南東麓と西麓に広がる都市公園である。面積 83ha の 90% が森林に覆われている。園内には、シンボルゾーン(愛の像、笠形噴水、彫刻の道)、展望台、自由広場や芝生広場、甲山自然観察池などが整備されている。		
景観上の特徴	甲山を含む本公園の緑は、本市の豊か自然を象徴する重要な要素であり、常に南部市街地の背景となつてうおいある景観の形成に寄与している。		



公園内の展望台から見る市街地南部の眺望



阪神高速湾岸線側道から見る甲山森林公園

7-9 甲東梅林		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>甲東梅林</p>  <p>学園花通りから見る甲東梅林</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	上甲東園 2-11-60	
		座 標	北緯	34.76834
			東経	135.35341
	建設年等		-	
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等		-	
	資源の概要		甲東公民館に隣接する甲東梅林は、明治時代に事業家である芝川又右衛門氏が果樹園経営を始める際にウメ、サクラなどを植えたのが始まりといわれている。品種は40種(約200本)に及び、毎年1月末から2月上旬が見ごろとされている。	
景観上の特徴		まちのアイストップに位置する梅林は、住宅開発前の「甲東農園」と呼ばれていた時代の名残として、今もまちなみ景観に彩りを与えている。		

7-10 上甲東園1号緑地		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>やくじんさん筋から見上げる1号緑地</p>  <p>壁のように連なる樹木</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	上甲東園 1-15	
		座 標	北緯	34.76794
			東経	135.35854
	建設年等		-	
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等		-	
	資源の概要		上ヶ原台地の端にあたり、崖線に樹林地が残されている。	
景観上の特徴		豊かな緑の一群が、「甲東園」の玄関部における印象的なアクセントになるとともに、閑静な住宅地に彩りとうるおいを提供し、良質なまちなみの景観形成に寄与している。		

7-11 上甲東園3号緑地		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	上甲東園 6-4	
座 標	北緯	34.76523	
	東経	135.35593	
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		門戸天神社の参道にあたり、常緑樹や竹林からなる樹林地である。	
景観上の特徴		緑地内の石灯籠や石階段等とともに、緑豊かで趣ある歴史的な景観をつくりだしている。	



3号緑地(門戸天神社参道)入口



樹林地内の石段

7-12 新堀川沿いのサクラ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
所在地	地 域	甲東地域		
	住 所	樋ノ口町 1、2、堤町、上之町、日野町		
	座 標	北緯	34.76248	
		東経	135.37173 ※座標は代表点を示す	
建設年等		-		
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等		-		
資源の概要		新堀川に沿って、国道 171 号～阪急神戸線間に連続して植えられたサクラ並木である。新堀川は江戸時代に鯉池に湧き出す武庫川の伏流水を水源にした農業用水路である。昔は新田開発のため農業用水を供給し続けた新堀川の現在の川筋は、武庫川の西岸を武庫川沿いに南下して新川に合流して海に繋がっている。		
景観上の特徴		川沿いのサクラ並木が地区の景観に四季の彩りを与えている。		




北側から見るサクラ並木




南側から見るサクラ並木

7-13 学園花通りのサクラ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>上甲東園3丁目から西方向を見る</p>  <p>甲東梅林前から西方向を見る</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	上甲東園 2～3		
		座 標	北緯	34.76804	
			東経	135.35256 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
指定等	景 観	関西学院周辺景観地区(令和2年6月1日指定)			
	文化財	-			
	環 境・その他	関西学院周辺地区地区計画			
受賞歴等	-				
資源の概要	このサクラ並木は近くに住む林勇氏が自費でサクラを植えていったことが始まりとされている。サクラ並木の向こうに関学の時計台と甲山を望めるサクラの名所として知られている。平成26年(2014)に無電柱化が進められた。				
景観上の特徴	学園通りから関西学院の時計台を背に甲山を一直線に望む美しい眺めは、本市において重要な眺望景観であり、文教住宅都市西宮を体現するものとなっている。通りのサクラ並木は、この眺望に四季の彩りを与え、さらに印象的なものとしている。				

7-14 上甲東園のクスノキ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>上甲東園のクスノキ並木①</p>  <p>上甲東園のクスノキ並木②</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	上甲東園 1～3		
		座 標	北緯	34.77021	
			東経	135.35459 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	文教地区			
受賞歴等	-				
資源の概要	上甲東園の住宅街を東西にクスノキ並木が連続している。現在の上甲東園付近は明治中期より果樹園が広がっており、その果樹園を甲東園と称したことが現在の甲東園の由来とされている。西宮七園に名を連ね、静かな住宅環境を守っている。昭和33年(1958)文教地区に指定された。				
景観上の特徴	大きく成長したクスノキの豊かな緑の軸が地区を貫き、沿道宅地の植栽と一体となっており、おおいあふれる景観を形成している。				

7-15 一里山町のサクラ並木			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>一里山町のサクラ並木 (春)</p>  <p>一里山町のサクラ並木 (夏)</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	一里山町		
		座 標	北緯	34.77228	
			東経	135.37126 ※座標は代表点を示す	
建設年等	昭和初期				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	-			
受賞歴等	-				
資源の概要	一里山町の住宅地の中を南北にサクラ並木が連続している。この付近のサクラ並木は昭和初期にこの地区が宅地造成された際に植えられたものとされている。				
景観上の特徴	閑静な通りに立ち並ぶサクラの並木が、まちなみの景観に四季の彩りやうおいを与えている。				

7-16 兵庫県立西宮高等学校のメタセコイア			資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)	
 <p>校内から見るメタセコイア</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	上甲東園 2-4		
		座 標	北緯	34.76778	
			東経	135.35311	
建設年等	-				
指定等	景 観	関西学院周辺景観地区(令和 2 年 6 月 1 日指定)			
	文化財	-			
	環 境・その他	関西学院周辺地区地区計画			
受賞歴等	-				
資源の概要	兵庫県立西宮高等学校の正門横の学園花通り沿いに樹高の高いメタセコイアが立つ。				
景観上の特徴	通り際に植えられた樹高の高い2本のメタセコイアが景観のアクセントとなっている。				

7-17 神呪町のサクラ・ケヤキ並木		資 源 類 型	公共空間の緑(拠点・軸)
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	神呪町	
	座 標	北緯	34.76329
		東経	135.35670
			※座標は代表点を示す
建設年等		-	
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等		-	
資源の概要		神呪町を南北にサクラ・ケヤキ並木が連続している。	
景観上の特徴		ケヤキとサクラ並木が、まちなみの景観にうるおいを与えるとともに四季の移ろいを演出している。	



神呪町のサクラ・ケヤキ並木



高架下から見るサクラ・ケヤキ並木

7-18 大市八幡神社の本殿と大クスなどの境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	若山町 3-31	
	座 標	北緯	34.75950
		東経	135.36530
建設年等			本殿:慶長 15 年(1610)
指定等	景 観	-	
	文化財	本殿:県指定有形文化財(昭和 55 年 3 月 25 日指定) 市指定有形文化財(昭和 54 年 3 月 20 日指定) 大クス:市指定天然記念物(昭和 55 年 3 月 11 日指定)	
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:13>(昭和 49 年 2 月 27 日指定、平成 7 年 12 月 21 日区域変更)	
受賞歴等		-	
資源の概要		大市八幡神社には県・市指定文化財の本殿と市指定天然記念物の御神木の大クス、景観樹林保護地区を含む境内林が残る。	
景観上の特徴		戸建住宅の屋根をはるかに超えるほど成長した大クスが印象的であり、その他の境内林とともに地区における緑のランドマークとなっている。	





大市八幡神社の鳥居と境内林



道路側から見る境内林

7-19 神呪寺の仁王門と境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>神呪寺の仁王門</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	甲山町 25-1	
		座 標	北緯	34.77304
			東経	135.32988 ※座標は代表点を示す
建設年等	平安時代			
指定等	景 観	-		
	文化財	仁王門：市指定有形文化財(昭和 56 年 3 月 25 日指定)		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
 <p>神呪寺境内</p>	資源の概要	甲山大師の名で親しまれている神呪寺は、甲山の中腹にあり平安時代初期に淳和天皇の妃の如意尼が弘法大師を招いて開創したと伝えられる。中央に高屋根四脚門を構え左右に低屋根を段違いにかけた三間一戸八脚門の異形で、仁王門としては珍しい建物である。		
景観上の特徴	変化に富む甲山の地形に沿って建てられた伽藍が残り、歴史的な景観を形成している。			

7-20 東光寺（門戸厄神）と境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等	
 <p>東光寺の境内林</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	門戸西町 2-26	
		座 標	北緯	34.76136
			東経	135.35358
建設年等	天長 6 年(829)			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:22>(昭和 52 年 3 月 7 日指定、平成 7 年 12 月 21 日区域変更)		
受賞歴等	-			
 <p>上甲東園 3 号緑地から見る東光寺と境内林</p>	資源の概要	門戸厄神東光寺は天長 6 年(829) 弘法大師の開基といわれ、境内にある厄神堂の本尊は日本三体厄神の一つで、門戸の厄神さんと呼ばれている。境内林は景観樹林保護地区に指定されている。		
景観上の特徴	歴史的な景観を有するとともに、緑豊かな境内林がまちなみの背景となって、うるおい豊かで趣のある地区景観を形成している。			

7-21 若宮八幡神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	段上町 1-5	
座 標	北緯	34.76689	
	東経	135.36439	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:12>(昭和 49 年 2 月 27 日指定、平成 14 年 8 月 9 日区域変更)	
受賞歴等	-		
資源の概要	若宮八幡神社にはマツを中心とした境内林が残っている。若宮八幡神社は延宝 8 年(1681)に大市八幡神社から分霊を勧進したと伝えられている。		
景観上の特徴	周辺の農地が一体となって、昔からの農村の面影を留める景観を見ることができる。		



若宮八幡神社の鳥居と境内林



東側から農地越しに見る境内林

7-22 門戸天神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	上甲東園 1-22-30	
座 標	北緯	34.76597	
	東経	135.35538	
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市景観樹林保護地区<番号:24>(平成 5 年 2 月 20 日指定) 西宮市保護樹木<番号:223、224>(平成 5 年 2 月 20 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	門戸天神社の境内林は景観樹林保護地区に指定されており、敷地内には保護樹木であるヤマモモが 2 本立つ。門戸天神社の鳥居は上ヶ原の八幡神社に次いで古かったが震災によって崩壊した。その右わきには自然石を祀った天神宮がある。弥生時代の弥生土器が出土した甲東園天神社遺跡でもある。		
景観上の特徴	三差路の角に佇む参道の入口が印象的で、周辺の住宅地とともにうおい豊かで趣のあるまちなみ景観を形成している。		



門戸天神社の境内林



境内の保護樹木のヤマモモ

7-23 神呪巖島神社の境内林		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	上甲東園 4-7	
	座 標	北緯	34.76549
		東経	135.35375
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	-	
受賞歴等	-		
資源の概要	境内林が石段を取り囲むように植生している。神呪巖島神社は市の東北部、甲東園の台地の高台に鎮座する神社である。		
景観上の特徴	石垣や隣接する公園とともに、うるおい豊かで趣のあるまちなみ景観を形成している。		



神呪巖島神社の石段と境内林



前面道路の石垣と境内林

7-24 甲陵中学校のユーカリ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	上甲東園 2-11-20	
	座 標	北緯	34.76947
		東経	135.35233
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:95>(昭和48年10月22日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	西宮市立甲陵中学校に立つ樹高18m、幹周438cmのユーカリ。西宮市保護樹木に指定されている。		
景観上の特徴	隣接する甲東梅林やくすのき通りの街路樹などとともに、地区のアクセントとして景観を特徴づけている。		



正面から見るユーカリ

7-25 西廣寺のエノキ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	段上町 3-2-3	
	座 標	北緯	34.77170
		東経	135.36382
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:89>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	西廣寺の境内に立つ樹高 6m、幹周 209cm のエノキ。西宮市保護樹木に指定されている。西廣寺は1200年余前に創建された寺院であるが、阪神・淡路大震災により本堂・山門が全壊、平成 14 年(2002)に再建された。		
景観上の特徴	お寺の伽藍等とともに、まちなみのアクセントとして地区の景観を特徴づけている。		



西廣寺とエノキ



水天宮

7-26 下大市 旧西国街道沿いのクスノキ		資 源 類 型	保護樹木と境内林・樹林等
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	下大市東町	
	座 標	北緯	34.76000
		東経	135.36116
建設年等	-		
指定等	景 観	-	
	文化財	-	
	環 境・その他	西宮市保護樹木<番号:85,86>(昭和 48 年 10 月 22 日指定)	
受賞歴等	-		
資源の概要	旧西国街道沿いに立つ 2 本のクスノキ。西宮市保護樹木に指定されている。		
景観上の特徴	通りにせり出す大きく印象的なクスノキが、往時の面影を今に伝える景観のアクセントになっている。		





旧西国街道から見るクスノキ





旧西国街道から見る水路沿いのクスノキ

7-27 関西学院構内古墳		資 源 類 型	歴史的建造物
	所在地	地 域	甲東地域
		住 所	上ヶ原 1
	座 標	北緯	34.77079
		東経	135.34604
	建設年等	古墳時代後期	
指定等	景 観	-	
	文化財	市指定史跡(昭和 49 年 3 月 20 日指定)	
	環 境・その他	-	
	受賞歴等	-	
	資源の概要	<p>関西学院構内古墳は古墳時代後期の直径約 12m の円墳で、南に開口する右片袖式の横穴式石室である。玄室長は 4.74m、羨道長は 5m。石室には花崗岩の円礫が使用されており、古墳内からは、金環や玉類、馬具、須恵器などが出土している。</p>	
	景観上の特徴	<p>上ヶ原用水路とともに、地区の歴史を感じることができる趣ある景観を形成している。</p>	
古墳石室			
古墳外観			

7-28 大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡		資 源 類 型	歴史的建造物
	所在地	地 域	甲東地域
		住 所	甲山町 41 の一部
	座 標	北緯	34.76974
		東経	135.33940 ※座標は代表点を示す
	建設年等	江戸期	
指定等	景 観	-	
	文化財	国指定史跡(平成 30 年 2 月 13 日指定)	
	環 境・その他	-	
	受賞歴等	-	
	資源の概要	<p>「大坂城石垣石丁場跡」は、徳川氏による大坂城改修に伴う石垣築造に使われた石材を、採取・加工した作業現場跡である。すでに国史跡に指定されていた、香川県小豆郡小豆島町の「小豆島石丁場跡」に加え、六甲山に所在する石丁場跡として「東六甲石丁場跡」が追加指定された。</p>	
	景観上の特徴	<p>甲山森林公園内にあって、当時の様子を彷彿とさせる景観が残されている。</p>	
東六甲石丁場跡			
石丁場跡内の眺望点から見る甲山と神呪寺			

7-29 厄神道標		資 源 類 型	歴史的建造物	
 <p>道標とやくじんさん筋</p>  <p>道標</p>	所在地	地 域	甲東地域	
	住所	門戸岡田町 4-3		
	座 標	北緯	34.75494	
		東経	135.35311	
	建設年等	-		
	指定等	景 観	-	
		文化財	-	
		環 境・その他	-	
	受賞歴等	-		
	資源の概要	<p>旧西国街道と旧有馬街道(西宮街道・現やくじんさん筋)の分岐点に建てられている道標。江戸中期のものと思われる。指さしのモチーフを使い東光寺(門戸厄神)の方角を示している。</p>		
景観上の特徴	<p>旧街道の面影を今に残す数少ない遺構として、往時の記憶を今に伝える通り景観のアクセントとなっている。</p>			

7-30 神戸女学院の校舎群と樹林		資 源 類 型	文教施設
所在地	地 域	甲東地域	
	住 所	岡田山 4-1	
座 標	北緯	34.75908	
	東経	135.35056 ※座標は代表点を示す	
建設年等	昭和 8 年(1933)		
指定等	景 観	-	
	文化財	正門及び門衛舎,図書館,音楽館, 総務館・講堂および礼拝堂,文学館,理学館,エッジウッド館,ケンウッド館,気罐室,社交館,体育館,葆光館:国指定重要文化財(平成 26 年 9 月 18 日指定)	
	環 境・その他	岡田山林:西宮市景観樹林保護地区(平成 22 年 12 月 1 日指定) 保護樹木<番号:210,211,212>(昭和 49 年 11 月 30 日指定)	
受賞歴等	エッジウッド館,ケンウッド館:ひょうごの近代住宅 100 選(兵庫県) 神戸女学院建築物群:近代化産業遺産群 続 33(平成 20 年度)		
資源の概要	神戸女学院大学は明治 8 年(1875)に創立され、昭和 23 年(1948)に新制女子大学として設置された私立大学で、岡田山に本部を置く。平成 21 年(2009)に講堂および礼拝堂、総務館、図書館、文学館、理学館、音楽館が国の登録有形文化財に登録され、平成 26 年(2014)には現存するヴォーリス建築 17 棟のうち 12 棟が国指定重要文化財に指定された。		
景観上の特徴	国の重要文化財にも指定された校舎群とキャンパス内の豊かな緑は、「文教住宅都市」にふさわしい、うるおいと風格のある景観を形成するランドマークとなっている。また、丘陵地にあるキャンパスの緑は、周辺住宅地の背景ともなり、良好な景観の形成に寄与している。		
 <p>神戸女学院の緑豊かな樹林</p>			
 <p>神戸女学院正門と樹林</p>			

7-31	関西学院大学 上ヶ原キャンパスの校舎群と樹林	資源 種類	文教施設
 <p>校内から見る時計台と甲山</p>	所在地	地域 甲東地域 住所 上ヶ原一番町 1-155 座標 北緯 34.76972 東経 135.34693 ※座標は代表点を示す	建設年等 昭和 4 年(1929)
 <p>キャンパス前の道路から見た校舎群</p>	指定等	景観 時計台、中央広場、ランパス記念礼拝堂：西宮市景観重要建造物(令和元年 8 月 14 日指定) 学院本部棟、経済学部棟、文学部棟、神学部棟、高中部本部棟、大学正門、旧大学本館門柱：西宮市都市景観形成建築物等(令和元年 8 月 14 日指定) 関西学院周辺景観地区(令和 2 年 6 月 1 日指定) 文化財 時計台(旧図書館)：国登録有形文化財(平成 21 年 8 月 7 日登録) 環境・その他 西宮市景観重要樹木：クスノキ等 44 本(令和元年 10 月 31 日指定)	受賞歴等 講義棟 A～F 号館、新大学図書館：第 2 回西宮市都市景観賞(平成 9 年度) 外国人住宅 1 号館：ひょうごの近代住宅 100 選(兵庫県) 関西学院建築物群：近代化産業遺産群 続 33(平成 20 年度)
	資源の概要	関西学院大学は明治 22 年(1889)に設立され、昭和 7 年(1932)に認可された私立大学で、昭和 4 年(1929)より上ヶ原に移転してきた。日本有数の美しいキャンパスとも言われ、ヴォーリス建築の国登録有形文化財である時計台(旧図書館)などスパニッシュ・ミッションスタイルで統一された校舎群と数多くの樹木に囲まれている。	
	景観上の特徴	国の重要文化財にも登録された校舎群とキャンパス内の豊かな緑は、「文教住宅都市」にふさわしい、うるおいと風格のある景観を形成するランドマークとなっている。また、学園花通りから直線上に正門、時計台越しに望む甲山への眺望は、本市を代表する美しい眺望景観となっている。	

7-32 関西学院大学 聖和キャンパスの校舎群		資 源 類 型	文教施設	
 <p>山川記念館と図書館（写真提供：関西学院大学）</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	岡田山 7-54	
		座 標	北緯	34.76207
			東経	135.35157 ※座標は代表点を示す
建設年等	-			
指定等	景 観	4号館、ゲーンズハウス(旧宣教師館);西宮市都市景観形成建築物等(平成4年3月2日指定)		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
 <p>上空から見る聖和キャンパスの校舎群（写真提供：関西学院大学）</p>	資源の概要	昭和7年(1932)に神戸女子神学校(後の聖和大学)が上ヶ原地区に移転、平成21年(2009)に関西学院と統合された。関西学院大学聖和キャンパスは上ヶ原キャンパスから徒歩10分の位置にあり、教育学部の授業が行われる。		
景観上の特徴	上ヶ原キャンパスの校舎デザインが踏襲された校舎群により、地区の一体感を生み出し、風格のあるまちなみ景観の形成に寄与している。			

7-33 上甲東園石段階段		資 源 類 型	現代建造物	
 <p>石段階段上甲東園方面</p>	所在地	地 域	甲東地域	
		住 所	上甲東園 1	
		座 標	北緯	34.76689
			東経	135.35688 ※座標は代表点を示す
建設年等	-			
指定等	景 観	-		
	文化財	-		
	環 境・その他	-		
受賞歴等	-			
資源の概要	颯川(えがわ)美術館の南から上甲東園 1丁目の住宅地に抜ける市道。石畳の階段状歩道で多くの学生の通学路となっている。			
景観上の特徴	風合いある自然石の階段が周辺の緑とあいまって、地区の風格を感じる趣ある通り景観を形成している。			

7-34 上甲東園の住宅まちなみ			資 源 類 型	特徴的なまちなみ	
 <p>上甲東園1丁目のまちなみと樹林</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	上甲東園		
		座 標	北緯	34.76954	
			東経	135.35704 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	文教地区			
受賞歴等	A邸:第2回西宮市都市景観賞(平成9年度)				
 <p>上甲東園1丁目のまちなみ</p>	資源の概要	<p>現在の甲東園付近は明治中期より果樹園が広がっており、その果樹園を甲東園と称したことが現在の甲東園の由来とされている。西宮七園に名を連ね、静かな住宅環境を守っている。昭和33年(1958)文教地区に指定される。</p>			
景観上の特徴	<p>開発当時の石垣や生垣が今も残り、庭先の豊かな緑とあいまって、うるおいと風格に満ちたまちなみ景観を形成している。</p>				

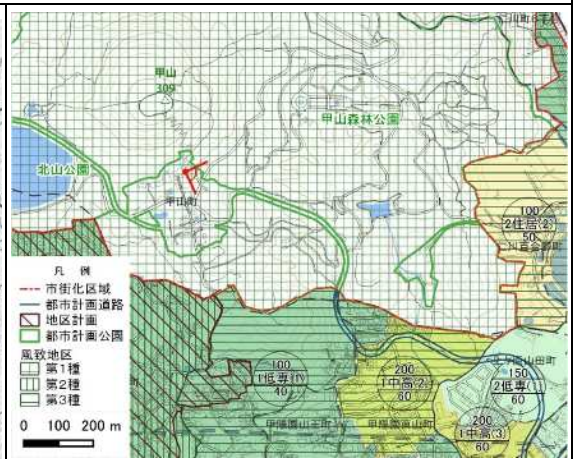
7-35 仁川沿いのまちなみ			資 源 類 型	特徴的なまちなみ	
 <p>仁川2丁目のまちなみ</p>	所在地	地 域	甲東地域		
		住 所	仁川町1~4、仁川百合野町、仁川五ヶ山町		
		座 標	北緯	34.77424	
			東経	135.36093 ※座標は代表点を示す	
建設年等	-				
指定等	景 観	-			
	文化財	-			
	環 境・その他	-			
受賞歴等	-				
 <p>仁川1丁目のまちなみ</p>	資源の概要	<p>仁川周辺では洪水によって運ばれた大量の土砂が長年にわたり堆積し、自然の堤防となり、この堤防と元の流路との間にできた細長い砂地を畑として利用されていた。大正13年(1924)に仁川の堤防が改修され、この細長い畑が仁川住宅地として発展したといわれている。</p>			
景観上の特徴	<p>風致地区にも指定されており、仁川と一体となっうるおい豊かで穏やかな住宅景観が形成されている。</p>				



視点場から東側への眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.77308
	経度	135.33017
眺望空間	近景	甲山森林公園の樹林
	中景	甲東地区と臨海部の市街地
	遠景	大阪湾と大阪平野の市街地、生駒山地の山並み

類型	パノラマ	
構成	視点場	神呪寺 展望台
	視対象	甲東・瓦木地区と臨海部の市街地と大阪湾



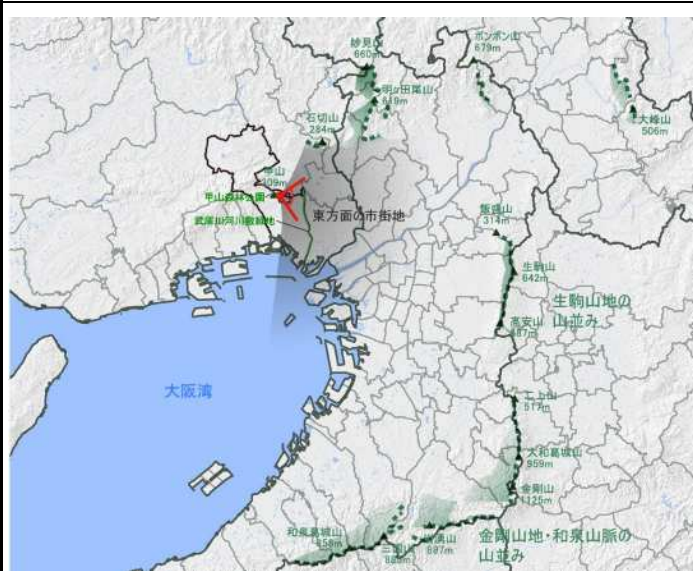
視点場の状態

特徴

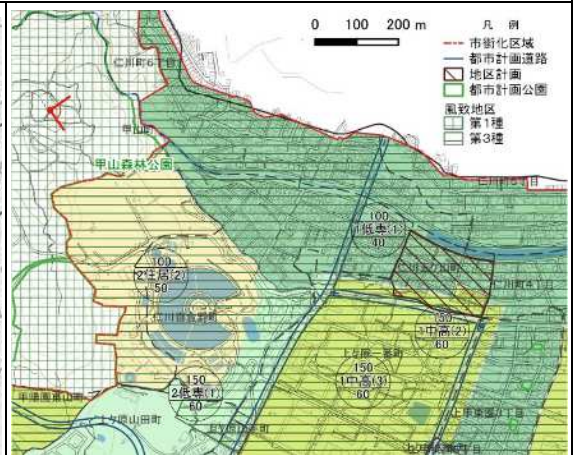
- 視点場の東に位置する関西学院大学や神戸女学院大学等の甲東地区方面を見ることができる。近景の樹林によって西宮市中心部への眺望は遮られている。
- 東は生駒山地の山並み、南は金剛山地・和泉山脈の山並みを背景として大阪平野の市街地を望むことができ、夜景のスポットとしても知られている。



視点場から東側への眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.77493
	経度	135.33889
眺望空間	近景	甲山森林公園の樹林
	中景	上ヶ原浄水場、関西学院大学上ヶ原キャンパス、甲東・瓦木地区の市街地
	遠景	大阪平野の市街地と生駒山地の山並み

類型	パノラマ	
構成	視点場	甲山森林公園展望台
	視対象	甲東・瓦木地区等の東方の市街地



視点場の状態

特徴

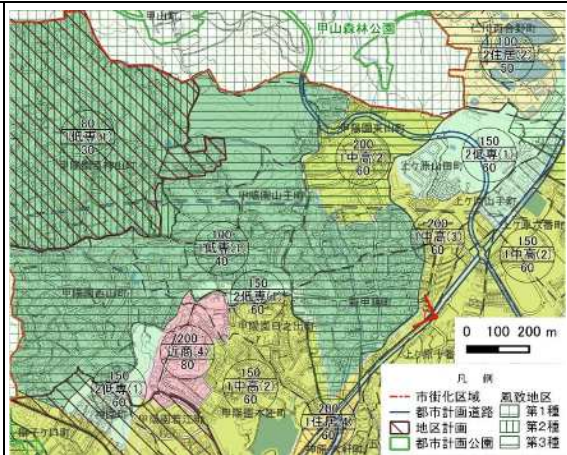
- ・東は生駒山地の山並み、南は金剛山地・和泉山脈の山並みを背景として東方の市街地から大阪平野を見渡すことができ、夜景スポットとしても知られている。
- ・市街地を俯瞰する視点場のうち、関西学院大学や神戸女学院大学など上ヶ原・岡田山の文教施設群に最も近く、緑豊かな文教住宅都市を俯瞰できる景観となっている。



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係

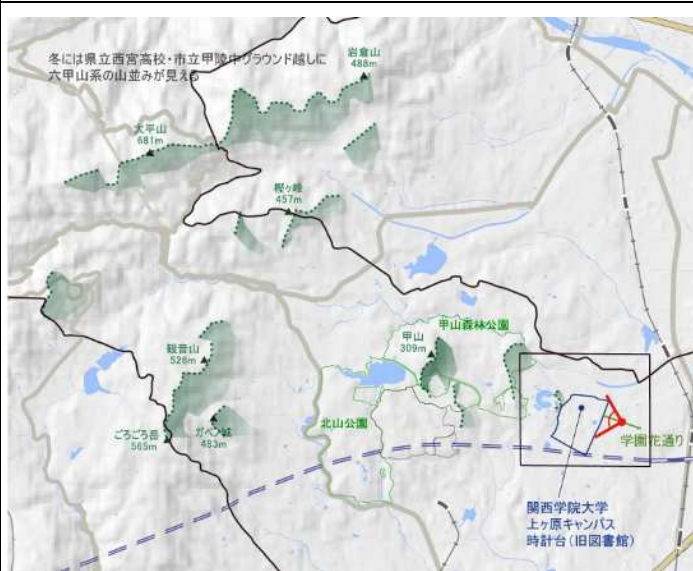


視点場周辺の拡大図

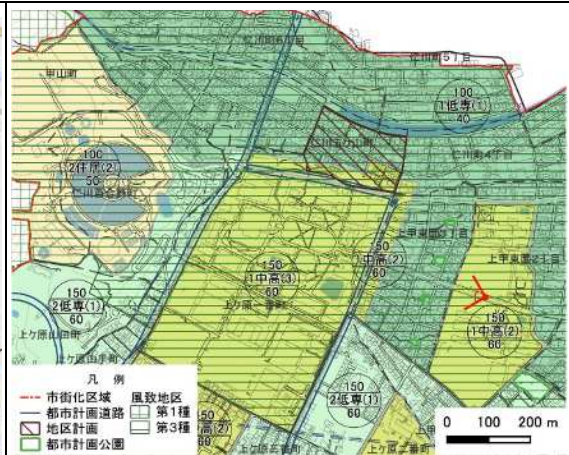
種類	パノラマ		 <p>視点場の状態</p>	眺望 所在地	緯度 34.76293
構成	視点場	山手線の歩道		眺望 空間	経度 135.33943
	視対象	甲陽園の住宅地	眺望 近景	山手線沿いの樹林	
			眺望 中景	新甲陽町から甲山西山町にかけての住宅地	
			眺望 遠景	甲山と六甲山地の山並み	
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・北側には甲山、西側に六甲山地の山並みを背景として苦楽園、甲陽園一帯の緑豊かな斜面住宅地を見渡すことができる。 ・甲陽園方面に見える斜面住宅地は、南に位置する甲陽園西山町と甲陽園山王町周辺が眺望でき、甲山の麓に広がる緑豊かな住宅地のイメージを享受できる眺望景観である。 ・背景となる六甲山地の山並みは、前山である樫ヶ峰山塊である。 				



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

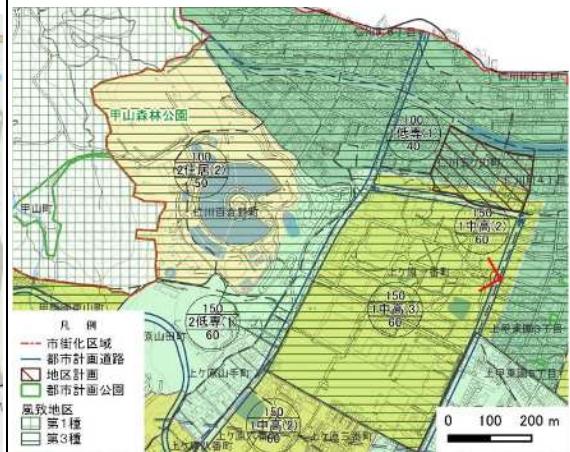
種類	ビスタ		<p>視点場の状態</p>	眺望空間	近景	学園花通りのサクラ並木
構成	視点場	甲東梅林前			中景	関西学院大学の時計台(旧図書館)
	視対象	関西学院大学の時計台(旧図書館)と甲山	遠景	甲山と六甲山地の山並み		
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・学園花通りのサクラ並木を見通した先に時計台と甲山を眺望できる。 ・関西学院大学上ヶ原キャンパスの正門前から甲東梅林まで視点場が連続し、横断歩道の位置や季節によって、沿道の建築物の密度や背後の山並みの有無が変化し、景観の変化を享受できる。 ・無電柱化が図られている。 					



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

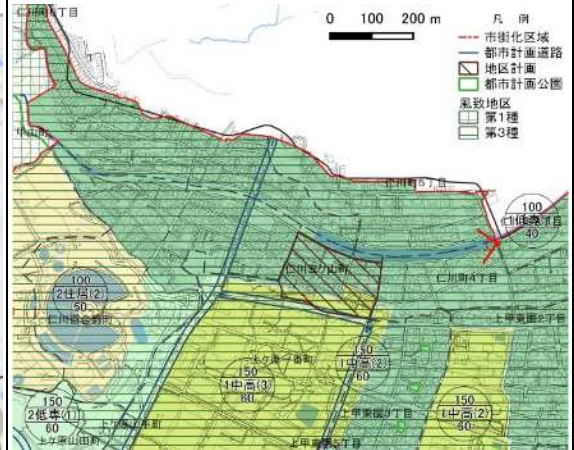
種類	ビスタ		<p>視点場の状態</p>	視点場所在地	緯度	34.76892
構成	視点場	関西学院大学正門			経度	135.34956
	視対象	時計台(旧図書館)と甲山		眺望空間	近景	上ヶ原キャンパスの建築物群
					中景	関西学院大学の時計台(旧図書館)
特徴	・W. M. ヴォーリズのキャンパス全体の設計構想において正門、中央芝生広場そして甲山山頂を貫くキャンパス軸線が設定され、その軸線上に左右対称に配された建物群によって、自然と建築が調和した景観を生み出している。					



視点場からの眺望



視点場と視対象の関係



視点場周辺の拡大図

視点場所在地	緯度	34.77203
	経度	135.35347
眺望空間	近景	仁川沿いのまちなみ
	中景	仁川沿いのまちなみ
	遠景	甲山と六甲山地の山並み

類型	ビスタ	
構成	視点場	翁橋
	視対象	仁川の市街地と甲山



視点場の状態

特徴	<ul style="list-style-type: none"> 甲山をアイストップとし、仁川と甲山森林公園等の樹林に上下を挟まれた、緑豊かな仁川沿いの住宅地を見ることができる。 甲山の麓には関西学院大学上ヶ原キャンパスの特徴的な色彩の屋根が眺望できる。
----	---